

熊本県 「倒産発生率」は 0.33% 3 年連続 0.3%台の高水準

業種別では卸売業が最高

熊本県・「倒産発生率」調査(2025 年)



本件照会先

赤嶺 太地(支店長)
帝国データバンク
熊本支店
096-324-3344(代表)
mail: info.kumamoto@mail.tdb.co.jp

発表日

2026/03/25

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

SUMMARY

帝国データバンク熊本支店は、企業概要データベース「COSMOS2」から各年の熊本県及び業種別の事業所数を抽出。事業所数を分母とし、それぞれに対応する倒産件数から「倒産発生率」を算出した。

2025 年熊本県の倒産発生率は、0.33%(前年比▲0.02pt)となり、3 年連続 0.3%台となった。業種別では、卸売業とその他が 0.63%で最高水準、全 8 業種中 3 業種が前年を上回った。

帝国データバンク熊本支店は、熊本県における「倒産発生率」について調査・分析を行った。

倒産発生率算出方法: 倒産件数÷企業概要データベース「COSMOS2」事業所数×100

集計対象: 負債 1,000 万円以上・法的整理による倒産

集計期間: 2000 年 1 月~2025 年 12 月

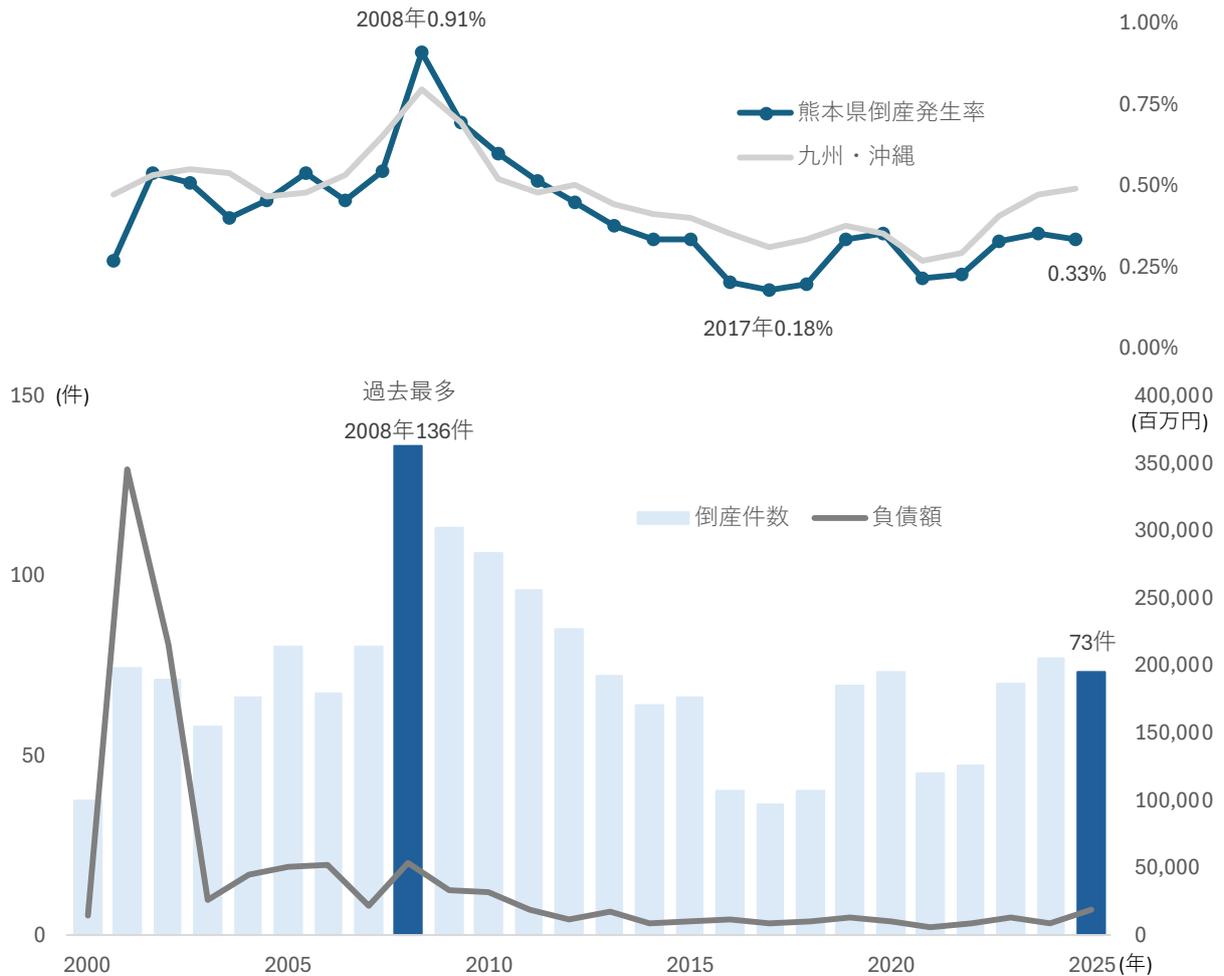
2025年熊本県「倒産発生率」は0.33%

2025年の熊本県企業倒産件数は73件(前年比5.2%減)で、3年連続70件台となった。負債総額は176億6500万円(同102.8%増)で、2年ぶりに100億円超え、直近10年では1番多い負債総額となった。負債額別で、「負債5000万円未満」の倒産31件(構成比42.5%)が最多ではあるものの、負債総額が10億円を超えた倒産は3件発生しており、予断を許さない状況が続いている。

帝国データバンク熊本支店は、企業概要データベース「COSMOS2」から各年の熊本県及び業種別の事業所数を抽出。事業所数を分母とし、それぞれに対応する倒産件数から「倒産発生率」を算出した。

2025年熊本県の倒産発生率は、0.33%(前年比▲0.02pt)となり、3年連続で0.3%台の高水準となった。2020年以降新型コロナウイルス感染拡大に伴い、政府による支援策もあって倒産件数及び倒産発生率ともに落ち着きを見せていたものの、2023年以降倒産件数の増加とともに、倒産発生率も上昇し、高止まりが続いている。

熊本県 倒産件数及び倒産発生率推移



業種別では卸売業が最高水準

業種別では、卸売業とその他がそれぞれ 0.63% で最高水準。卸売業は前年比+0.11pt で 2 年連続前年を上回り、直近 10 年間では最高水準となった。また、サービス業(0.41%、前年比+0.11pt)、小売業(0.38%、同▲0.21pt)を含めた計 4 業種が全体(0.33%)を上回り、全 8 業種中 3 業種で前年を上回る結果となった。

2025 年九州・沖縄地区の倒産発生率と比較すると、全 8 業種のうち、その他(0.63%、九州・沖縄 0.58%)を除く 7 業種で九州・沖縄地区の水準を下回り、熊本県は他県に比べて倒産リスクが低い傾向にあるものの、3 年連続 0.3% 台となるなど、県内においては徐々にリスクが顕在化してきている様子がうかがえる。

熊本県 業種別「倒産発生率」推移(2016 年~2025 年)

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	【参考】 九州・沖縄
建設業	0.15%	0.08%	0.10%	0.32%	0.21%	0.08%	0.24%	0.38%	0.23%	0.19%	0.31%
製造業	0.33%	0.13%	0.19%	0.39%	0.33%	0.20%	0.26%	0.20%	0.33%	0.13%	0.61%
卸売業	0.24%	0.20%	0.49%	0.59%	0.50%	0.10%	0.31%	0.26%	0.52%	0.63%	0.67%
小売業	0.35%	0.42%	0.31%	0.79%	0.79%	0.69%	0.14%	0.48%	0.59%	0.38%	1.01%
運輸・通信業	0.15%	0.15%	0.15%	0.14%	0.14%	0.74%	0.15%	0.60%	1.03%	0.30%	0.49%
サービス業	0.12%	0.16%	0.15%	0.11%	0.28%	0.13%	0.22%	0.18%	0.30%	0.41%	0.45%
不動産業	0.18%	0.36%	0.09%	0.00%	0.25%	0.00%	0.16%	0.39%	0.31%	0.15%	0.17%
その他	0.31%	0.00%	0.26%	0.12%	0.36%	0.35%	0.35%	0.57%	0.11%	0.63%	0.58%
全体	0.20%	0.18%	0.20%	0.33%	0.35%	0.22%	0.22%	0.33%	0.35%	0.33%	0.49%

※前年比上昇は色付き

まとめ

2025 年熊本県企業倒産件数は 73 件(前年比 5.2% 減)で、3 年連続 70 件台となった。業種別では、卸売業とその他がそれぞれ 0.63% で最高水準。卸売業は前年比+0.11pt で 2 年連続前年を上回り、直近 10 年間では最高水準となった。また、全 8 業種中 7 業種で九州・沖縄地区の水準を下回り、熊本県は他県に比べて倒産リスクが低い傾向にあるものの、3 年連続 0.3% 台となるなど、県内においては徐々にリスクが顕在化してきている様子がうかがえる。

2020 年の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、政府による支援策もあって倒産件数及び倒産発生率は落ち着きを見せていた。しかし、近時の物価高騰や人件費上昇に加え、米国の関税政策など地政学リスクの高まりといった環境要因を背景として、2023 年以降倒産件数は増勢を持続。2025 年の熊本県企業倒産件数は 73 件(前年比 5.2% 減)で、3 年連続 70 件台。負債総額は 176 億 6500 万円(同 102.8% 増)で、2 年ぶりに 100 億円超え、直近 10 年では 1 番多い負債額となり、予断を許さない状況が続いている。

今後、企業としては、人材確保・価格転嫁の定着・コスト削減など、変化の激しい環境への対応力が問われる。